

2021年3月期 第3四半期 決算補足資料

2021年2月5日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 <https://www.keihan-holdings.co.jp/>)

2021年3月期 第3四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド需要の減少や国内における外出自粛の影響による大幅な減収に加え、不動産業における前年同期のマンション販売の反動減などにより減収。また、各段階の利益においても大幅に悪化し、第3四半期決算としては過去最低。

(単位：百万円)

	2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減	増減要因
営業収益	182,908	246,932	△64,024 (△25.9%)	※新型コロナウイルスの影響△609億円
営業利益	270	31,437	△31,166 (△99.1%)	※新型コロナウイルスの影響△372億円
営業外収益	3,129	1,686	1,443	雇用調整助成金+1,369
営業外費用	2,651	2,433	218	
経常利益	749	30,690	△29,940 (△97.6%)	
特別利益	3,939	2,831	1,107	投資有価証券売却益+2,578、 受取補償金△1,093
特別損失	1,404	1,313	91	新型コロナウイルス感染症による損失+947、 固定資産圧縮損△909
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,593	21,242	△22,836 (-)	
受取利息及び配当金	599	985	△386	
支払利息	1,567	1,668	△100	
金融収支	△968	△683	△285	

(単位：百万円)

		2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	49,003	72,674	△23,671	△32.6%
	営 業 利 益	△7,263	11,630	△18,893	—
不 動 産 業	営 業 収 益	76,013	84,246	△8,232	△9.8%
	営 業 利 益	15,168	14,500	667	4.6%
流 通 業	営 業 収 益	61,881	75,372	△13,490	△17.9%
	営 業 利 益	771	2,842	△2,070	△72.9%
レジャー・サービス業	営 業 収 益	7,483	27,208	△19,724	△72.5%
	営 業 利 益	△7,786	3,127	△10,913	—
その他の事業	営 業 収 益	2,292	2,113	178	8.4%
	営 業 利 益	△982	△414	△567	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△13,766	△14,682	915	—
	営 業 利 益	362	△248	611	—

《影響の概要》

2020年4月に発令された緊急事態宣言により、当社グループの各事業は厳しい状況に陥りました。特に運輸業やレジャー・サービス業では、外出自粛に伴う利用者数減少の影響が非常に大きく、流通業では、政府や地方自治体の要請による店舗休業の影響を受けました。

5月の同緊急事態宣言の解除以降、国内需要は徐々に回復の兆しが見えてきたものの、11月以降再び感染者数が急増したことで需要回復に歯止めがかかっており、インバウンド需要も厳しい状況が続いております。

《影響額》

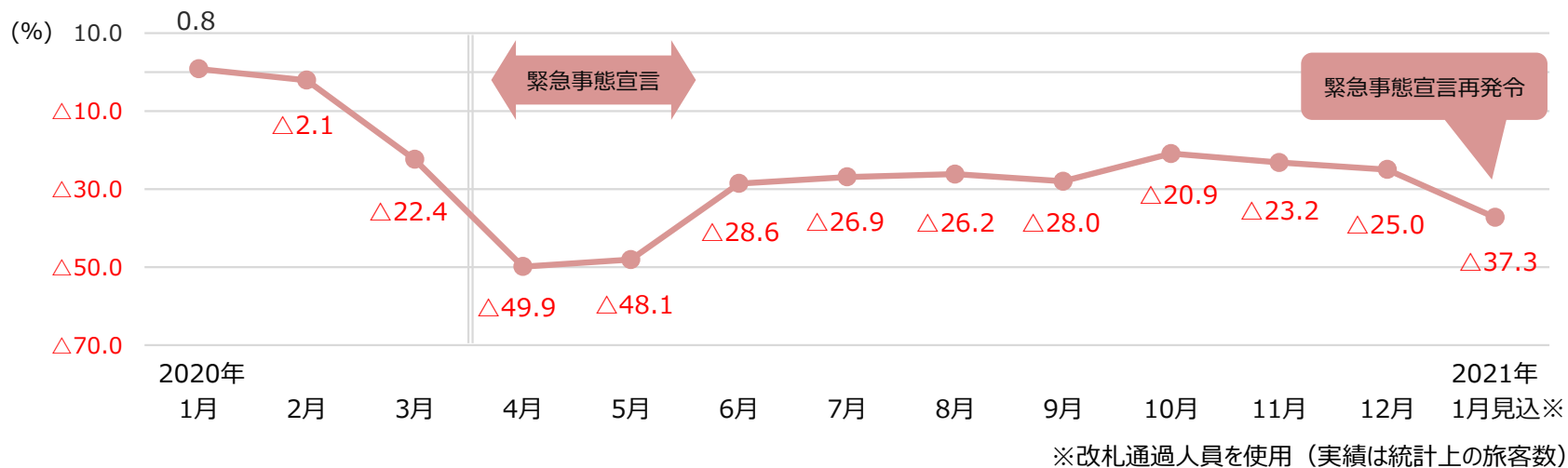
	営業収益	営業利益	主な影響
運 輸 業	△250億円	△235億円	鉄道・バスの旅客数減少
不 動 産 業	△11億円	△4億円	展示場・貸し会議室利用数の減少
流 通 業	△124億円	△21億円	商業施設の利用者数減少
レジャー・サービス業	△208億円	△105億円	ホテル・レジャー施設の利用者数減少
その他の事業	△13億円	△6億円	商業施設の利用者数減少
合 計	△609億円	△372億円	

《休業施設等の固定費の会計処理》

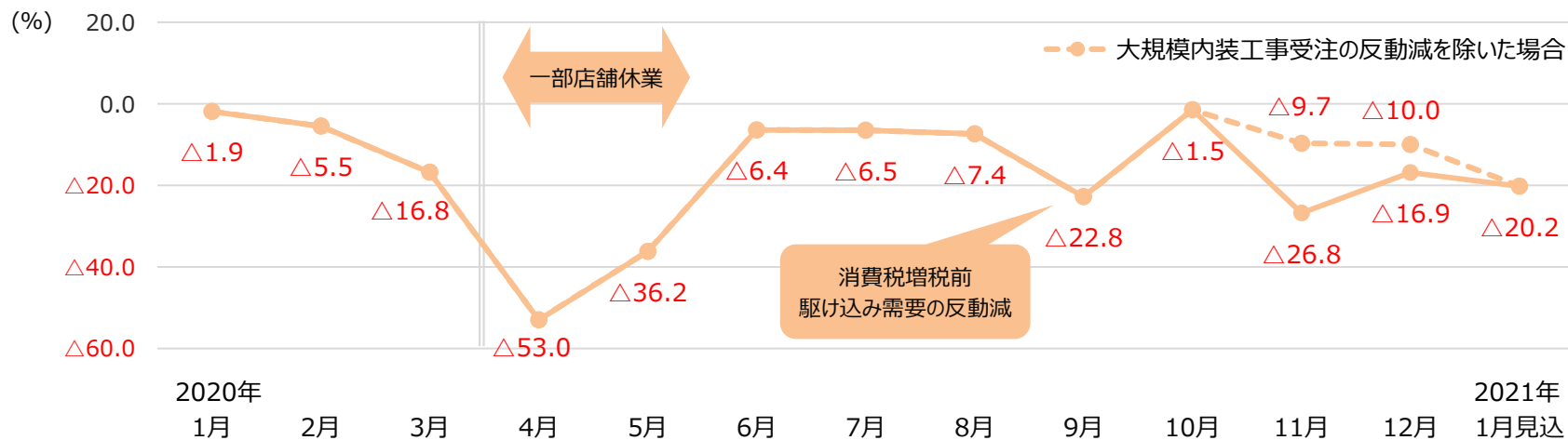
緊急事態宣言発令期間中（2020年4月～5月）の休業施設などに係る固定費（人件費、賃借料、減価償却費など）**947百万円**を「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上しました。

影響を受けた主な事業の状況（1）

《鉄道事業（京阪電気鉄道） 旅客数対前年比》

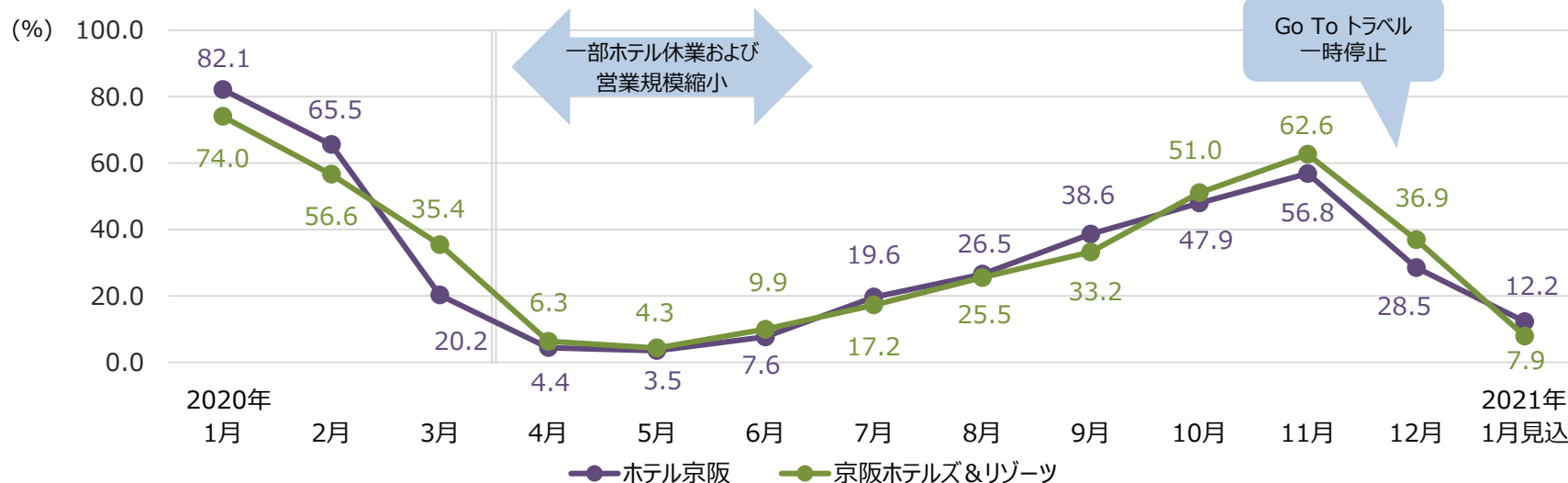


《百貨店業（京阪百貨店） 営業収益対前年比》



影響を受けた主な事業の状況（2）

《ホテル事業 客室稼働率》



※緊急事態宣言の再発令による影響

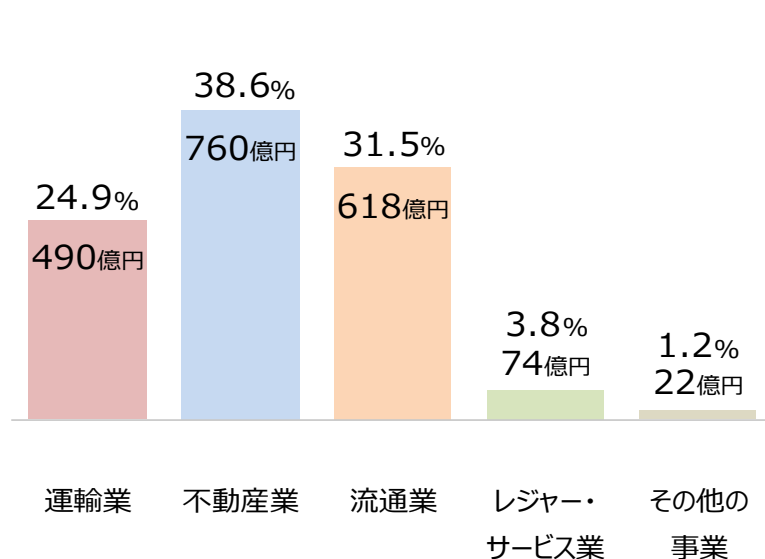
2020年11月5日に公表した業績予想では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の再発令などには行われないう前提を置き算定しておりましたが、2021年1月14日に大阪府や京都府において緊急事態宣言が発令され、時短営業や外出自粛の要請が行われたことにより、当社グループの業績への影響が想定されます。しかしながら、現時点では影響を合理的に算定することが困難であるため、前回公表数値を据え置いております。

セグメント情報（構成）

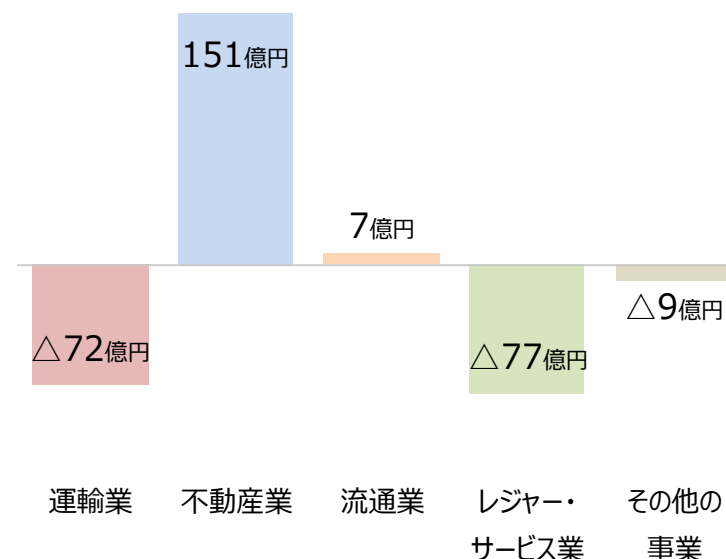
【連結対象会社】42社（対前年同期 増減なし）【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他8社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、バイオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
その他の事業	ビオスタイル、京阪カード

<セグメント別営業収益>

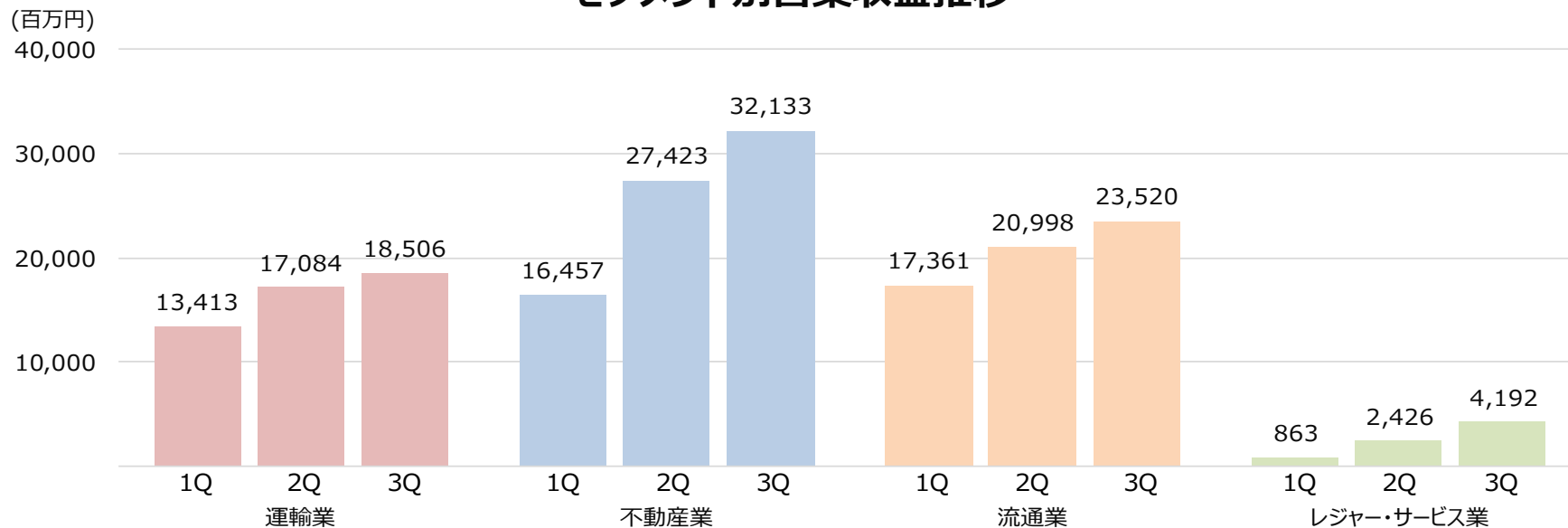


<セグメント別営業利益>

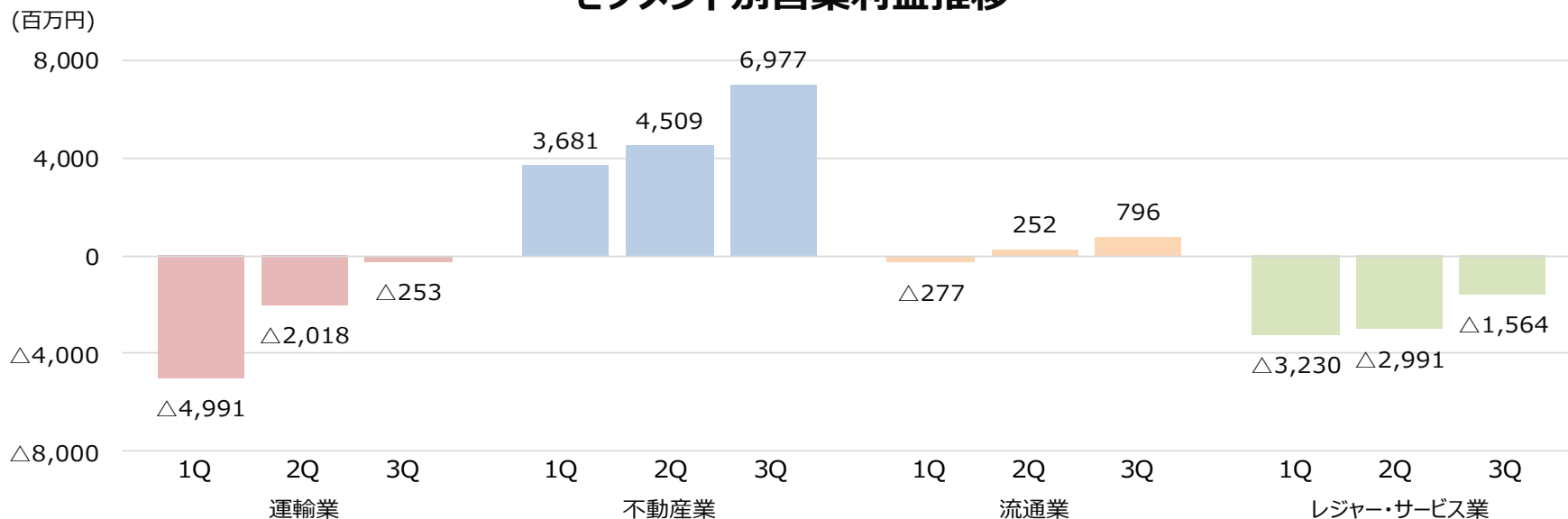


(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額であります。%は各セグメントの構成比を表しております。

セグメント別営業収益推移



セグメント別営業利益推移



セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

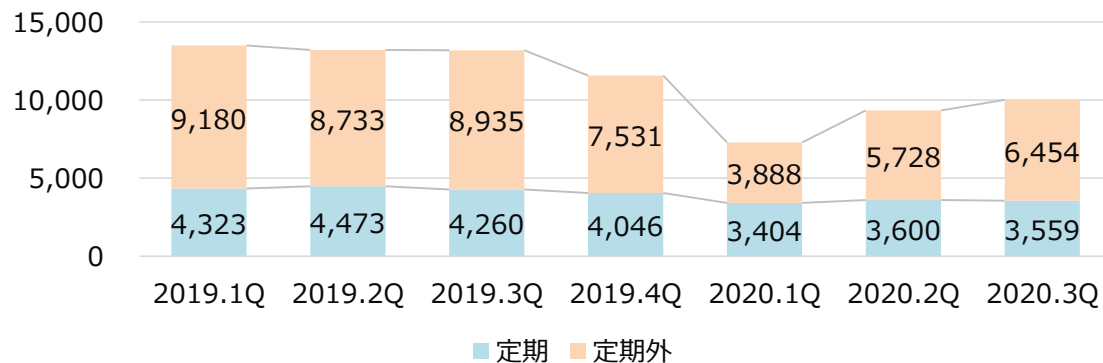
				2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減額	増減率	
営	業	収	益	49,003	72,674	△23,671	△32.6%	
	鉄	道	事	業	41,115	58,818	△17,703	△30.1%
	バ	ス	事	業	13,917	21,313	△7,396	△34.7%
	消		去	△6,028	△7,457	1,428	—	
営	業	利	益	△7,263	11,630	△18,893	—	
	鉄	道	事	業	△4,903	9,426	△14,329	—
	バ	ス	事	業	△2,372	2,187	△4,559	—
	消		去	11	15	△4	—	

（主な増減要因）

- 鉄道事業は、新型コロナウイルスの影響による旅客数減少の影響が大きく、減収・減益。
- バス事業は、新型コロナウイルスの影響による乗合収入や定期観光収入の減少などにより、減収・減益。

	2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客収入	26,634	39,905	△13,270	△33.3
定期外	16,070	26,848	△10,778	△40.1
定期	10,563	13,056	△2,492	△19.1
	千人	千人	千人	%
旅客数	157,504	227,859	△70,355	△30.9
定期外	67,884	113,841	△45,956	△40.4
定期	89,620	114,018	△24,398	△21.4

旅客収入の推移（百万円）



（定期外旅客収入の主な増減要因）

- 新型コロナウイルスの影響 △10,963百万円

（定期旅客収入の主な増減要因）

- 通勤定期の減少 △1,452百万円
- 通学定期の減少 △808百万円

セグメント情報（不動産業）

(単位：百万円)

		2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減額	増減率
営	業 収 益	76,013	84,246	△8,232	△9.8%
	不 動 産 事 業	64,090	72,421	△8,331	△11.5%
	不 動 産 販 売 業	42,483	51,661	△9,178	△17.8%
	不 動 産 賃 貸 業	18,751	17,894	856	4.8%
	そ の 他	2,854	2,864	△9	△0.3%
	建 設 事 業	15,808	16,305	△497	△3.0%
	消 去	△3,884	△4,480	595	—
営	業 利 益	15,168	14,500	667	4.6%
	不 動 産 事 業	15,045	14,340	705	4.9%
	不 動 産 販 売 業	5,960	5,598	361	6.5%
	不 動 産 賃 貸 業	8,753	8,409	343	4.1%
	そ の 他	332	332	0	0.0%
	建 設 事 業	△15	250	△265	—
	消 去	137	△90	228	—

(主な増減要因)

- 不動産販売業は、前年同期の「ザ・京都レジデンス御所東」などのマンション販売の反動減により減収となったものの、利益面では戸建事業や事業用物件一棟売却が寄与し、増益。
- 不動産賃貸業は、不動産ファンド収入の増加や前期に取得した物件の通期寄与などにより、増収・増益。

セグメント情報（流通業）

(単位：百万円)

	2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	61,881	75,372	△13,490	△17.9%
百貨店業	31,426	39,284	△7,858	△20.0%
ストア業	19,347	22,866	△3,518	△15.4%
ショッピングモールの経営	8,903	11,103	△2,199	△19.8%
その他	5,010	5,946	△936	△15.7%
消去	△2,806	△3,828	1,022	—
営業利益	771	2,842	△2,070	△72.9%
百貨店業	△98	609	△708	—
ストア業	389	553	△163	△29.5%
ショッピングモールの経営	671	1,517	△846	△55.8%
その他	△201	149	△351	—
消去	11	11	△0	—

（主な増減要因）

- 百貨店業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の一部休業などにより、減収・減益。
- ストア業は、新型コロナウイルスの影響により駅近・空港内の商業施設が苦戦し、減収・減益。
- ショッピングモールの経営は、新型コロナウイルスの影響による「KUZUHA MALL」の休業などにより、減収・減益。

セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：百万円)

	2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減額	増減率
営業収益	7,483	27,208	△19,724	△72.5%
ホテル事業	5,840	24,050	△18,209	△75.7%
レジャー事業	1,661	3,178	△1,517	△47.7%
消去	△18	△21	2	—
営業利益	△7,786	3,127	△10,913	—
ホテル事業	△7,462	2,812	△10,274	—
レジャー事業	△337	301	△638	—
消去	12	14	△1	—

《ホテル稼働率 内訳》

	2021/3 3Q実績	2020/3 3Q実績	増減
ホテル京阪	26.4%	92.8%	△66.4pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	27.4%	87.2%	△59.8pt

(主な増減要因)

- ホテル事業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の休業や営業規模の縮小などにより、減収・減益。
- レジャー事業は、新型コロナウイルスの影響による運休・休業などにより、減収・減益。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021/3 3Q実績	2020/3 実績	増減額	増減要因
流動資産	197,526	177,016	20,510	現金及び預金+15,095、 販売土地及び建物+6,770
固定資産	556,202	555,808	394	
資産合計	753,728	732,824	20,904	
流動負債	162,087	167,695	△5,608	短期借入金△11,597、 1年以内償還予定の社債+9,965
固定負債	342,814	311,069	31,744	社債+20,000、長期借入金+12,500
負債合計	504,902	478,765	26,136	
純資産	248,826	254,058	△5,232	利益剰余金△3,468 ※自己資本比率32.4% (△1.7pt)
負債純資産合計	753,728	732,824	20,904	
有利子負債	350,001	327,132	22,868	社債+29,965、短期社債△7,999



京阪ホールディングス株式会社

グループ管理室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562